今月の話題 vol.18

新技術の発信を飯舘村の農地から

菊池製作所×イームズロボティクスのドローン飛行会

純国産のドローンで
農業の再生を応援！

8月30日、外内地区の大豆畑で、菊池製作所福島工場（草野／本社・東京都八王子市）主催の「ドローンテスト飛行会」が行われました。

この飛行会に登場したのは農業用の大型ドローン（無線操縦無人機）です。菊池製作所が出資するグループ会社、イームズロボティクス（本社・南相馬市）が開発・設計を行い、菊池製作所福島工場が部品製作などに関わっています。

飛行会には、農家の方をはじめ、関連企業や営農組合の皆さん、役場の農政担当などが集まって、機体の特徴や操縦方法について聞き、農薬散布のデモンストレーションを見学しました。

菊池製作所では、このドローン開発を通じて村の農業復興にも貢献したいと考えていて、社員の中からドローン操縦者の養成も行っています。

時折小雨が降る中でのテスト飛行。この機体はフライトユニット（飛行部分）の下に容量10Lのタンクを装着できるタイプです。タンクからのびるノズルで液体を散布します。タンクのユニットは、10kg積載可能な粒剤散布装置と付け替えることもできます。

1haのほ場におよそ12分で散布できます。

テスト飛行会に協力した13区営農組合の皆さん。同組合ではすでにドローンによる作業を導入していて、この機体にも興味津々の様子。

テスト飛行の機体。パソコン上のルートを元に飛行するオリジナルのソフトは機能満載。地元産のドローンはメンテナンスも安心です。

地元の農業に役立てたい

菊池製作所では、このドローンを使った村内農地でのサポート活動を視野に入れ、社員の方が操縦等を学んでいます。9月中旬には南相馬工場に併設の自社フィールドで、実習が行われていました。参加者の1人、齊藤和哉さん（深谷）は立候補でのメンバー入り。やりがいをもって取り組んでいるそうです。「任せてもらえるよう安全な操縦を心がけたいと思っています」。

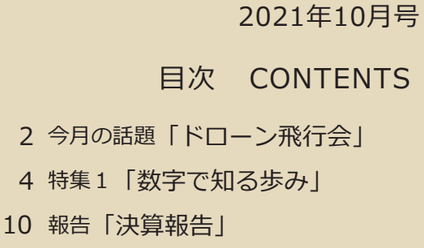
自社フィールドでの講習に臨む社員と講師の皆さん

菊池製作所 福島工場（草野）

広報いいたて
2021年10月号

目次　CONTENTS

2 今月の話題「ドローン飛行会」
4 特集１「数字で知る歩み」
10 報告「決算報告」
13 報告「村職員給与公表」
14 飯舘百景「秋めく いいたて」
16 報告「9月議会定例会」
17 報告「村議会議員一般選挙結果」
18 学びの広場「全国学力・学習状況調査」
19 ほけんとふくし「転倒を防ごう」
20 いいたて便り
22 話題のパレット
23 はなれていても／ふれ愛館だより
24 おしらせのページ
25 入札結果
26 いいたてDIARY／までいの食卓
27 ふるさと資源／ひとのうごき
28 ほっとNEWS／飯舘言葉の達人



今月の表紙

福島県軟式野球大会でベスト16の活躍をした飯舘村チーム。メンバーは登録順に、監督・赤石沢優也さん、主将・遠藤翼さん、渡邊和東さん、星敬さん、大和田諒さん、草野隆洸さん、石井秀哉さん、佐藤優太さん、山田豊さん、山田貴洋さん、高橋敏さん、庄司睦也さん、佐藤義幸さん、末永進一さん、大東佑介さん、鴫原駿輔さん、石川航多さん、一刀駿さん、石川海さん（表紙撮影の25日欠席の方も含みます）。裏表紙の記事もご覧ください。